

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第8回武蔵村山市観光施策検討協議会（視察）
開 催 日	平成23年8月4日（木）
開 催 場 所	道の駅なるさわ
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：溝尾良隆、高橋茂明、高橋敏彦、古屋勤、高橋昭、田村崇寛、乙幡弘、 鳴川和広 欠席者：嶋田一成、江村信彦、佐保満和、柳澤有三、乙幡清次、乙幡章吾、青柳 真紀子、小林充子 事務局：地域振興課長、地域振興課観光グループ主査、同グループ井上 委託業者：川本直弘
報 告 事 項	道の駅なるさわの概要について
議 題	(1) 視察（道の駅なるさわ） (2) その他 次回検討協議会の日程
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保留 事項等を記載する。)	(1) 視察（道の駅なるさわ） なし。 (2) その他 次回検討協議会の日程 9月は議会が開催されるため、会長及び事務局で調整し、決定後各委員に 連絡する。
審 議 経 過 (主な意見を原則と して発言順に記載 し、同一内容は一つ にまとめる。)	(1) 視察（道の駅なるさわ） 施設運営者（JA 鳴沢村渡辺氏）より鳴沢村農業の概要及び直売所（物産館） の運営状況について資料をもとに説明。 以下、渡辺氏への質疑応答内容。 ○ 出荷組合「ふじさん」はどのように構成されているのか。 ● 鳴沢村の村民のみで、夫婦や親子が多い。 ○ 出荷組合「ふじさん」を設立した目的としてどのようなことが挙げられ るか。 ● 売上が低いわけではないが、もっと伸ばしていこうと考えた。 ○ 農産物は年間を通して供給しているのか。 ● 村で野菜を生産・供給できる期間は、6月から11月である。その他の 期間は市場から購入し、対応している。 ○ 販売品目の中に鹿肉ソーセージがあるが供給はどのように行っているの か。 ● 鹿が村に出てきて農産物に被害を及ぼすため、猟友会の協力により鹿を 捕り、その肉を材料としている。 ○ 指定管理料はどのようになっているのか。 ● 鳴沢村（施設設置者）とJA（指定管理者）とで利益を折半している。 ○ 毎年どのくらい村に納めているか。 ● 昨年で約2,000万納めている。 ○ 来場者数はどのように算出しているか。 ● 車数に係数を掛けて算出している。 ○ 土日の利用客数はどの程度になるか。 ● レジでの計算で2,000人から2,500人くらいである。 ○ 農産物の客単価はどのくらいか。 ● 1,500円から1,600円である。 ○ 富士眺望の湯ゆらり及び鳴沢いきやりの湯は、村と道の駅とで連携等は あるのか。 ● 特にない。 ○ 道の駅の各種祭りの主催はどこか。また、野菜狩り等の企画には仲介業
○ 委員・ 事務局 ● JA 鳴沢村	

